

小田原市斎場の斎場使用料が変更になります

平成19年4月1日より小田原市斎場の使用料が、
下表のとおり変更になります。

町からの火葬料補助金額については変更がありませんので、自己負担が発生します。

なお、秦野市斎場は従来どおり変更ありません。

問合せ

防災環境課 環境班
☎(81)1115

使用区分			単 位	使 用 料		補助金額	自己負担額
				(新)	(旧)		
死 体	大人		一体につき	38,000円	32,000円	32,000円	6,000円
	小人	12歳未満 死 胎 児	一体につき	19,000円	16,000円	16,000円	3,000円

3月1日～7日 春の全国火災予防運動

- 4つの対策
- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。
 - ② 寝具や衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
 - ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器等を設置する。
 - ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

- 3つの習慣
- ① 寝たばこは、絶対にやめる。
 - ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ③ ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

住宅防火・いのちを守る 7つのポイント



春は空気が乾燥し強風が続くなど、火災が発生しやすい気候となります。わが家が火災から守るため、ご家族で次のポイントを再確認しましょう。

『消さないであなたの心の注意の火。』

火の用心 7つのポイント

- ① 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ② 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- ③ 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ④ 風の強いときは、たき火をしない。
- ⑤ 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- ⑥ 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ⑦ ストープには、燃えやすいものを近づけない。

町内火災発生状況

(1月1日～12月31日)

種 類	H18	H17
建 物 火 災	3 件	1 件
車 両 火 災	5 件	5 件
林 野 火 災	0 件	0 件
その他火災	0 件	3 件
合 計	8 件	9 件

戸沢村にホームステイ

1月27日(土)から29日(月)にかけて、冬の「戸沢村・中井町青少年ふれあい交流事業」が行われました。今回参加した町内の児童16名は、昨夏以来となる戸沢村児童との再会を楽しみに山形県

戸沢村を訪問し、2泊3日のホームステイで雪国の冬を体験しました。



あしがら広域圏ネットワーク

小学生酒匂川駅伝競走大会 中村インパクトが優勝!

2月3日(土)、あしがら広域圏ネットワーク小学生酒匂川駅伝競走大会が開催されました。大会には、小田原市・南足柄市・足柄上郡5町から17チームが参加し、南足柄市営大

口河川敷グラウンドから小田原アリーナまでの約10キロを各チーム6人でたすきリレーしました。

本町からは中村小学校6年生で構成される中村インパクトと女子バレーボールチームの中井ジュニアが参加しました。大会は、中村インパクトが6区間のうち4区間で区間賞を取り、2位のチームに2分32秒の差をつけて、総合タイム35分9秒で見事優勝しました。



前列：中村インパクトの選手と尾上町長
後列：中井ジュニアの選手

市町村対抗ながわ駅伝

2月11日(日)、第61回市町村対抗ながわ駅伝競走大会が行われ、秦野市中央運動公園から県立相模湖公園までの7区間、51.5kmを、各市町の代表選手がたすきをつなぎ疾走しました。

●中井町チーム

第1区 山本瞬平
第2区 小川大輔
第3区 金子和博
第4区 森 雅美
第5区 瀬戸栄作
第6区 上木高広
第7区 内田悦弘
総合タイム(31位)
3時間9分18秒



協働まちづくり講演会



1月30日（火）二宮町生涯学習センター「ラディアン」で、協働まちづくり講演会が開催されました。この講演会は二宮町・中井町合同で行われ、100名を超える両町の住民が聴講に訪れました。

講師を務めた法政大学現代福祉学部学部長の岡崎昌之氏は、『住民協働のまちづくり』をテーマに、地方の農山村地域のまちづくりに関わってきた自らの実体験を交えながら、『まちづくりに全国画一的なサービスの追求ではなく、その町・地域に合った施策と、女性や若者の参画が必要だ』と講演されました。

中学生が職業体験

2月2日（金）、中井中学校の1・2年生174名が一日職業体験を行いました。

この職業体験は町内企業や福祉施設など36事業所の協力で行われ、生徒たちは自分が体験してみたい職場を選び、それぞれの事業所に分かれて、「働く」ということを肌で感じていました。



園児と一緒に豆まきをする生徒たち
（井ノ口保育園）

あしがら竹林フォーラム

2月11日（日）・12日（月）、あしがら竹林フォーラムが開催されました。フォーラムでは、南足柄市三竹地区と中井町半分形地区で実施されてきた「あしがら竹林再生事業」の活動や、竹を活用した様々な取り組みによる地域づくり事例などが紹介されました。

11日には、南足柄市三竹地区と中井町半分形地区の現場見学会が実施されました。12日には、南足柄市文化会館で、竹を活用した地域活性化に関する意見交換会やパネルディスカッションのほか、竹細工の無料体験や竹楽器による演奏などが行われました。



きれいな音色で観客を魅了した竹楽器演奏

松尾芭蕉の句碑が
寄贈されました

境コミュニティセンターの広場に設置されている俳句短歌立寄り処に、松尾芭蕉の句碑が建てられ、前教育長で中井俳句協会会長の相原宗由氏（境原）より町へ寄贈されました。

句碑には、里山の風景が連想できる芭蕉の句「山路来て何やらゆかしすみれ草」が刻まれています。



寄贈された句碑と相原さん（左）、尾上町長（右）

今月のおすすめ

改善センター図書室 ☎ 81-3907

井ノ口公民館図書室 ☎ 81-3311



「Be Happy」

いわ めい あき
岩合光昭 (TOKYO FM 出版)

小さなかわいらしい動物が、まるで花に口づけをしているような表紙のショットにまずはだれもが思わず微笑んでしまうでしょう。ガラパゴス諸島の自然の驚異に圧倒され、動物写真家となった岩合氏の写真集です。燕尾服を着たペンギンや旅の先々で出会うネコたち、“海のクマ”を再認識できるホッキョクグマたち、そしてホワイトライオンの美しさにため息をつきながら撮影した写真ととっておきのエピソードが綴られています。きっと“あなたをHappyにしてくれる”でしょう。



「水問題の重要性に 気づいていない日本人」

はし もとじゅん じ
橋本淳司 (PHP研究所)

人間にとって不可欠な「水」。現代日本では、水道の水でなく、ボトルの水を買って飲む人が多くなってきた。「水は買うもの」というのは、正しいか、幻想であるか？水道水は、ほんとうに「マズイ水」であるのか？世界を見渡すと、生活に必要な水に不自由している地域が数多くある。「水問題」を専門とする気鋭のジャーナリストが、「おいしい水の話」から「酸性雨の話」まで、わかりやすく説き明かす。

呼び合ひて帰る鴉や日脚伸ぶ
古き碑の手入れよき庭紅椿
春泥や畦より足を滑らせる
遠鴉声張り上げて春隣
日を浴びてひたすら菜花摘む親子
洞あれど花魁て梅古木
止り木で脚整えし寒雀
風邪などと侮るなかれ声失せり
裸木やふくら雀を葉の如く
半世紀変らぬままの梅の里
賽銭の音の響けり冬の寺
寒風の中にびりつと締まる富士
冬草の生き抜く術を学びけり

石黒 雅風
大野 英峰
倉橋 幸子
池田ミツ子
大澤 嘉子
須藤喜美代
山口 清山
中村 初江
野中 由実
早野光村子
相原 宗作
加藤 涼風
多田てる夫

俳句同好会

なかい文芸

墨絵教室同好会



題名「花もくれん」
大野優子 (久所)

滞短歌会

羽音あらく驕の来りてわが庭の
数ふる程の柚子を啄む
四世代揃ひて作るどんどの団子
九頭竜峽を湖東三山をめぐる旅
思ひしよりも元気に帰り来ぬ
ふる里会に久々に会ひし友の子は
自ら焼きし湯呑をくれぬ
幼きとつく追羽根に重なりぬ
三十年前の吾と娘に
見開きにあすかの乙女匂ひ立つ
人形写真集に心昂まる

短歌同好会

梅の枝にもずの餌らしきにさされいる
肉皮かわきて風に揺れおり
空蟬に過去を残して旅立てど
主の蟬は花の有りしか
幼き日の晴着着せたや七五三
広げて見ては待つ日つのりぬ
早朝の山峰清く明ける頃
東の空にしらむ海寄る
浮遊するちりが顔をめぐける
ねむれぬ朝の光の中に
朝夕に犬の散歩の道みちに
吾れつまずけば顔を見上げる
梅林の花のトンネル通り抜け
ほのかに匂い春のそよかせ
久びさに亡き息子の「いとこ」等の結婚式
手洗い立ちて暗涙にむせぶ
今日一日無事に生きれば幸いと
戦時の頃の地獄まぶたに

石田智恵子
舟川 春子
山本三矢子
石田 好江
新谷美千代
池谷 久子

曾我 鈴子
平沢 節子
蟹江 俊江
中村 せつ
多田 ゆき
星野 雪江
萩野 秋子
相原 ハル
小清水時子

サークルファイル

Vol.9

「しらさぎ太鼓」

和太鼓が好きな子集まれっ！

和太鼓が好きな子どもたちが、地域・年齢に関係なく楽しく活動しています。現在は、小学校1年生から高校生までが入会しています。

美・緑なかいフェスティバルや開成町のあじさいまつりなどのイベントにも出演しています。

太鼓に興味のある子、太鼓が好きな子、やってみたい子は見学に来てください。いつでも入会できます。

※月謝はありませんが、太鼓メンテナンス料として月1,000円を徴収しています。

練習日 月2回（日程変更あり）

第1土曜日 午後1時3時

第3木曜日 午後6時7時

場所 中村小学校体育館

問合せ 岩本☎（81）3442

林 ☎（81）4020



掲載申込方法

掲載を希望する団体は、企画課企画調整班

☎（81）1112までご連絡ください。

地域活動ファイル

Vol.11

「ききょうの会」

会長 五十嵐功一（砂口）

町の花「ききょう」を町中に咲かせよう!!

ききょうの会は、今から8年前に青少年指導員の遊学園部が母体となって、「ききょうの栽培を通して、青少年のふるさと造り」をスローガンに発足しました。現在は町民の多くの方に参加を呼びかけ、町の花「ききょう」を町一杯に咲かせることを夢みながら、いろいろなやがや活動を行っています。



す。会のモットーはムリをせず、会員の親睦を図りながら、参加できるときに参加する息永い活動です。活動拠点である中村地区の万年橋花壇は、面積が約300㎡あり、ききょうを基本に四季折々の花を栽培して、中村小学校に通う子供達や町民の皆さんの目を楽ませてくださいます。また、秋には栽培して増やしたききょうの根を役場や公民館を通じて町民の皆さんに配布しています。老若男女どなたでも結構です、ききょうの会にぜひ参加してみませんか。

※「ききょう」花言葉は変わらぬ愛・誠実。宿根の多年草で東アジア固有の植物。日本全土で見られます。英語名はブルーインフLOWER、韓国名はトラジ。根はセキヤのどに良いとされ、龍角散の成分にもなっています。

●団体に関する問合せ

五十嵐功一 ☎（81）1648

ボランティア活動や町事業への協力など、地域で活躍している団体を紹介します。



この鳥は「ウソ」といいます。早春に梅や桜の芽をついばみ、オスは喉から頬にかけて桃色が目立つのが特徴です。

ウソは「幸運を招く鳥」、凶事を嘘（ウソ）にして幸運に替えるとされ、亀戸天神社などでは鶯替神事という伝統行事が行われています。

1月24日撮影（境コミュニティセンターにて）



※野球場外周に咲くおかめ桜

花だより

中井中央公園では、例年2月下旬から4月下旬にかけて、河津桜（2月下旬）、おかめ桜（3月中旬）、ソメイヨシノ（4月上旬）、芝桜（4月下旬）がそれぞれ開花します。



いくみ会
中井支部の
ヘルシー
クッキング



タイム

レシピ18

れんこんまんじゅう



■一人分の栄養価

エネルギー	97kcal
たんぱく質	6.6g
脂質	0.2g
カルシウム	32mg
塩分	0.8g

■材料（4人分）

れんこん	250g	しょうゆ	大さじ1
えび（殻つき）	4匹	水溶き片栗粉	大さじ1・1/2
ぎんなん	12個	柚子の皮	少々
だし汁	3/4カップ	塩	少々
みりん	大さじ1		

■作り方

- ①れんこんは皮を厚めにむき、目の粗いおろし金ですりおろす。
- ②えびは殻、尾、背ワタを取り除き、4等分に切って塩少々ふる。ぎんなんは殻を除き、茹でて薄皮をむく。
- ③①のれんこんの汁気を絞らずにボールに入れ、塩小さじ1/2を加えよく混ぜる。
- ④耐熱皿に③を4等分にしてのせ、②のえびとぎんなんを等分にのせ、蒸気の上上がった蒸し器で3分間蒸す。
- ⑤あんを作る。鍋にだし汁、みりん、しょうゆを入れて火にかけ、煮立ったら火を止め、水溶き片栗粉を加えてよく混ぜる。再び火にかけて混ぜ、とろみがついたら火から下ろす。
- ⑥④を器に盛り、⑤のあんをかけ、すりおろした柚子の皮を散らす。

ひとくちメモ

- すりおろしたれんこんの汁気を絞ると、繊維のみになり固まらないので注意しましょう。

今月の納付

介護保険料 第9期分
下水道事業受益者負担金 第4期分

納期限は4月2日(月)です

☆お支払いは便利な口座振替をご利用ください

※下水道事業受益者負担金は、口座振替を利用できませんので、ご注意ください。

問合せ

保健福祉課 高齢介護班 ☎81-5548
上下水道課 業務班 ☎81-3903

世帯と人口

平成19年2月1日現在（前月比）

世帯数	3,282世帯(+3)
人口	10,099人(+2)
男	5,137人(+1)
女	4,962人(+1)

R100

※本誌は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

広報

なかい

3
2007.MAR

No.502 平成19年3月1日発行

●編集・発行／中井町役場企画課
●〒259-0197 神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56

●電話0465-81-1112
●FAX0465-81-1443
●ホームページアドレス <http://www.town.nakai.kanagawa.jp>
●Eメールアドレス kikaku@town.nakai.kanagawa.jp